

防災だより

第2号

平成28年2月7日発行 小田急金森泉自治会先守防災隊

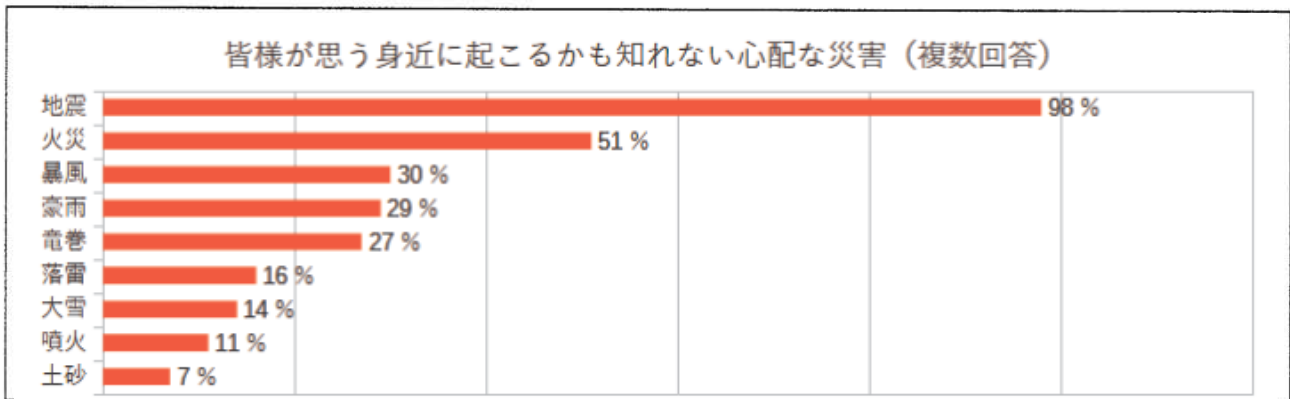
防災・減災への備え実態調査結果のお知らせ

寒い日が続いておりますが、皆様お変わりないでしょうか。標記アンケート調査にご協力頂き誠に有難うございました。結果がまとまりましたので、お知らせ致します。地域の皆様の状況・傾向等が読み取れますので、ご自宅と比べながらさらなる取組みの指標にして頂ければ幸いです。私共防災隊もこの結果に基づいた活動の方向性をもって、情報提供、重点施策検討、実施を皆様と共に進めて参る所存です。

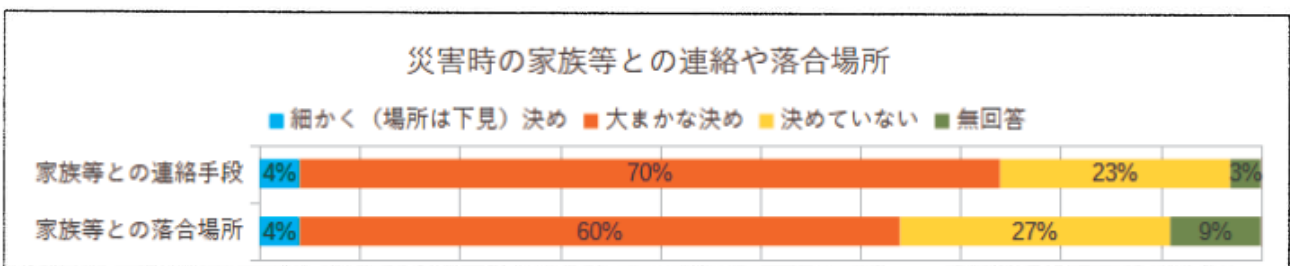
調査要領

- ・配布：**全363世帯**（平成27年12月）・回収：**210世帯**（平成28年1月8日）・回収率：**58%**
- ・結果の比率数値は、特に説明のない限り210世帯に対するものです。

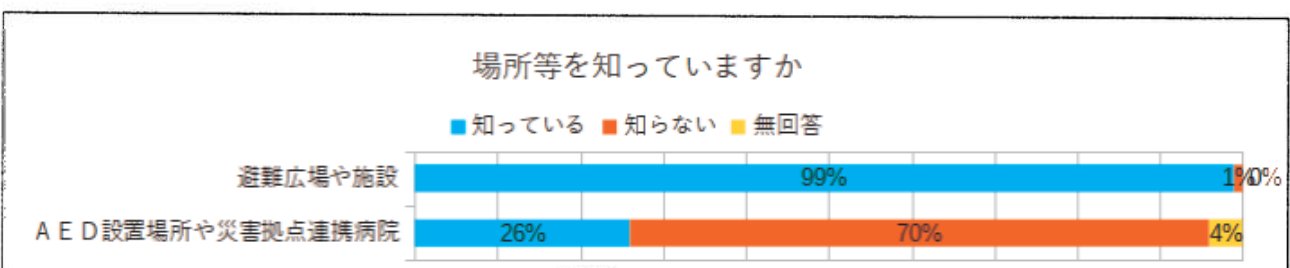
調査結果



圧倒的に地震と次に火災でしたが、心配ないものではなく、複合的な災害（地震で石積み崩壊・落雷から火災・火山灰等で下水管詰り後に豪雨で水害等）も忘れずにいたいと思います。



約7割前後の世帯は何かしか決めていますが、複数用意やさらに細かく決めておく必要がありそうです。



避難広場（わさび田公園）や避難施設（小川高校）はご存じでした。AED設置場所（ふれあいもみじ館・南第四小・小川高校・他に全学校や全官公庁）、災害拠点連携病院（町田慶泉病院）は、この通りです。

お住まい建築時の耐震基準（注：旧基準は昭和56年5月31日以前）

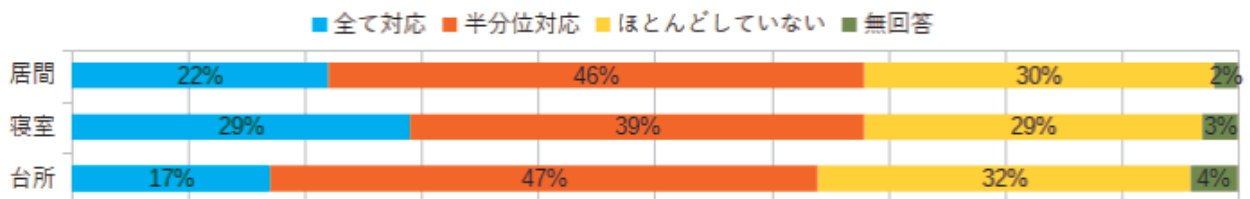


お住まいのその後の耐震対策状況

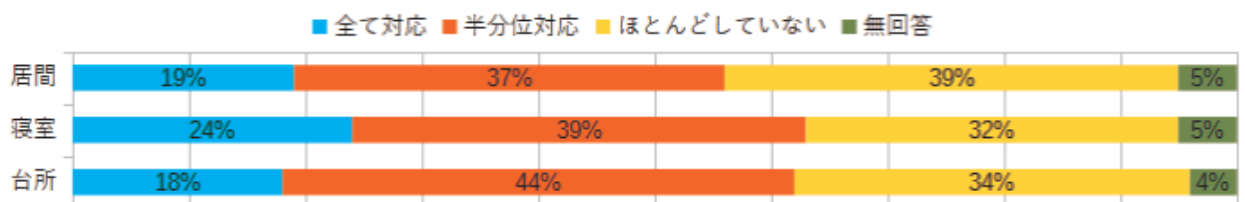


旧耐震基準で建築（全体の38%）のうち約2割は耐震補強済で、残りの約8割（**全体の約3割**）が旧耐震基準であり、今後の耐震診断やその結果を受けた耐震補強が望まれます。新耐震基準で建築（全体の59%）のうち15%は耐震診断を受けた結果、その約9割が耐震補強を実施しています。専門家等への確認は必要ですが、新基準による建築と云えども耐震診断受診が必要なのかも知れません。

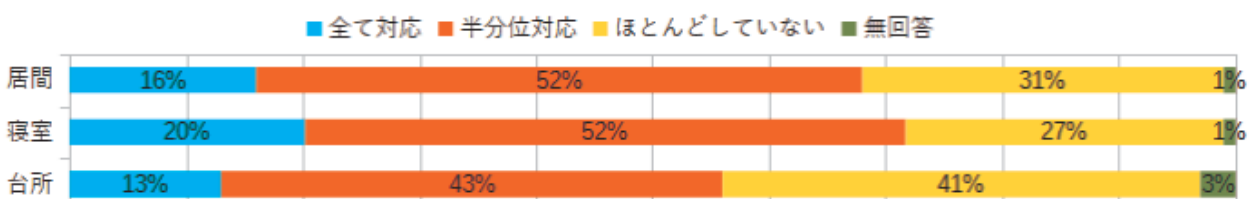
部屋別の家具等の移動・転倒対策



部屋別の戸棚内飛び出しや家具上からの落下防止対策

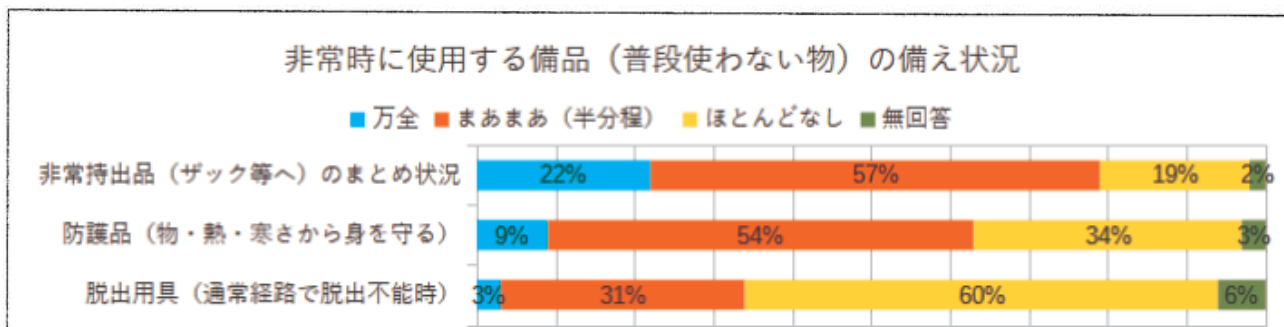


部屋別のガラス類飛散防止や飛散時対策

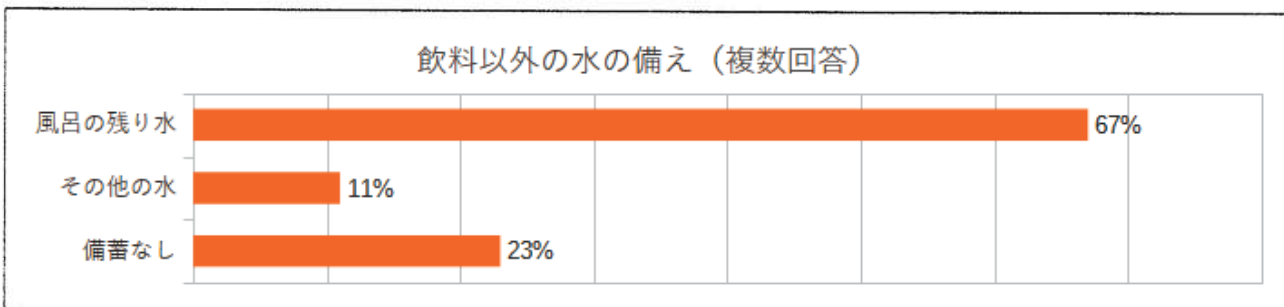
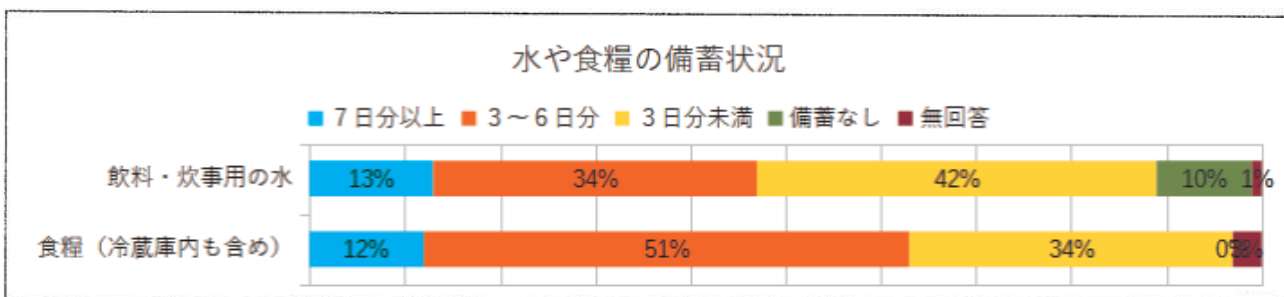


全体の6~7割世帯で何らかの対策に取組み、意識の高さを感じますが内容は十分ではないと思います。寝室は寝ていて無防備と云う認識が、他部屋より対策率が高くなる理由と思いますが、**無謀備ゆえ対策（家具転倒防止・スリッパ・ホイッスル等）が必須です。**居間は、比較的長時間いる所で、台所は割れ

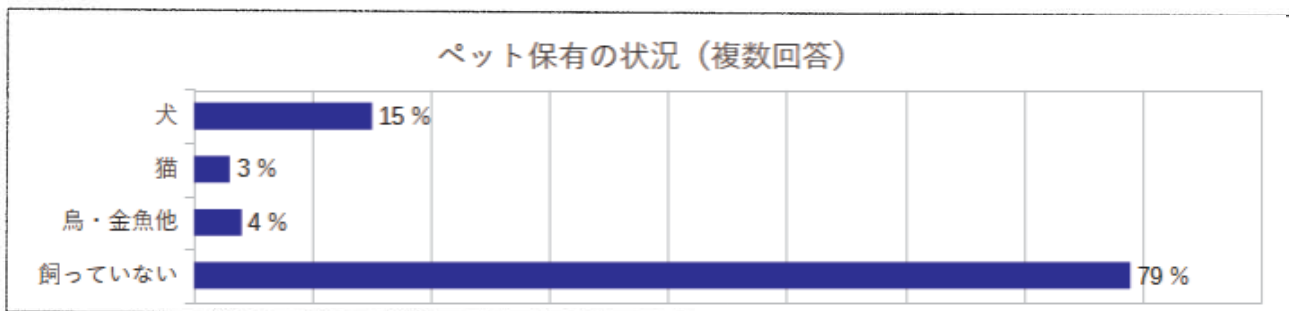
物や重い家電製品等もあり、危険度が高い特徴を持ちます。これら特徴に配慮して対策を進めましょう。



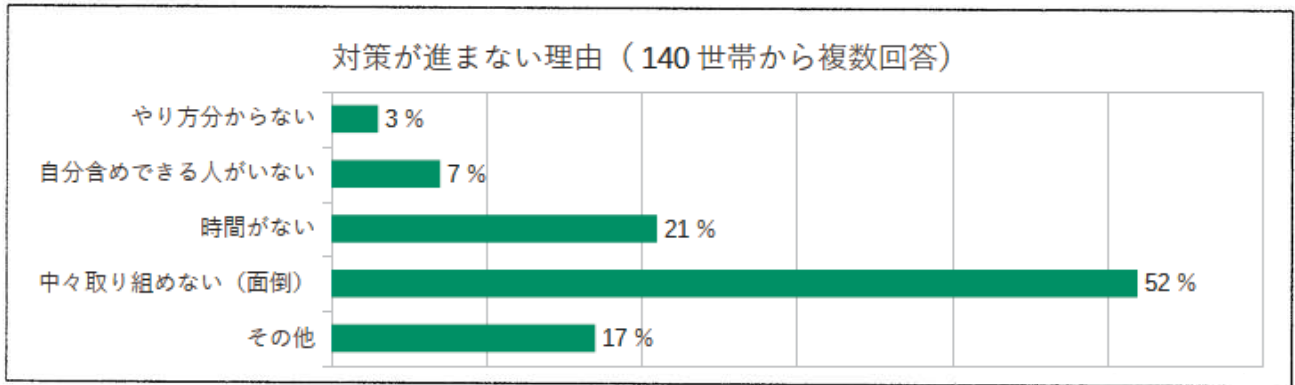
非常持出品約 8 割、身を守る防護品約 6 割と高めの備え状況に比べ、脱出用具は約 3 割と低いものでした。今後、推奨する物の具体的なリスト等をお知らせして行きたいと思います。なお、他に備えているものを尋ねた結果、「簡易トイレ」「二階からの縄はしご」「寝袋」等が複数あり、目を引きました。



水や食糧の備蓄は、一人 7 日分を目安にするよう都や市は呼び掛けています。皆様の内これを満たしている世帯は 13% で、今後の取組み努力が望まれます。先般「防災だよりの井上様体験談」にもご指摘のように、飲料水はもちろんその他の水備蓄が極めて重要と説かれています。**「備蓄なし」の世帯の方は、是非とも可能な範囲で取組むことを望みます。**なお、飲料以外の水として風呂残り水の他に、保存後賞味期限切れとなったペットボトルの継続保存や、ポリタンク等への貯水をされている世帯が散見されました。



約 2 割の世帯でペットを飼ってられます。犬が多くを占めており、これら比率からの推定ですが、地域には 50 頭前後の犬が飼われていると思われます。避難施設への避難が必要となるような大被災時等には、離れて管理する必要が生じます。日頃のしつけやペットフード備蓄等を考えて置きたいものです。



140世帯からの回答で「中々取り組めない（面倒）」と「時間がない」の理由が多くを占め、「取り組まなくては」の気持ちはあるが、切っ掛けやタイミングをつかめないでいる姿が想像されます。備えと一口に云っても、大変多岐にわたる内容であり、一度に取り組むには多大な時間とお金も必要です。少しずつ計画的（何をすべきかのリストアップ、取り組む順序を決める、物品購入なら入手方法、専門家や業者に依頼するもの等の整理等）に取り組むことをお勧めします。防災隊からも参考になる各種情報を提供していこうと考えておりますので、一緒に取り組んで参りましょう。

自由意見欄 防災隊では、以上の他これらも参考にして各種活動施策の立案や情報提供等に取り組めます。なお、下表は直筆ご意見の要約で、内容から左項のように分類してみました。

啓発	東日本大震災等の時間経過と共に気持ち薄れて反省・常に気にし見直し必要 井上氏体験談が参考になり思い直した・備えを家族で考えたい 体調から協力できず・ヘルメット購入したいと思う 災害時対策の家庭内話し合いなかった・今後種々対策を考える必要性感じた アンケートをチェックして反省した アンケートで備えの重要性再認識・これからも働きかけを願う 建物耐震対策や台所の高いところに物を置かない努力している
啓発	
啓発	
啓発	
啓発	
啓発と情報要望	
啓発意見	
施策（自分ルール）	持病があり、万一の時は直接小川高校へ行こうと思っている 高齢で避難施設行けず自宅避難準備(備蓄備品)・ケガや常備薬確保が不安 わさび田公園が遠い班等に、小川高校への直接避難ルールも決めてほしい 以前自治会でヘルメット回収あった・再配布あると良いが 高齢者への平時の若年層からの声掛けと、解り易く頻繁な情報提供を望む 地域の防災活動の活発化の方策は？ もっと多くの方が防災組織に加わるよう啓蒙が必要 高齢者世帯の対策
施策（自分ルール）	
施策提案	
施策提案	
施策提案と情報要望	
施策要望	
施策要望	
施策要望	
情報要望	個人情報保護の許す範囲で、班内の空家や避難困難者の情報がほしい 防災対策に役立つ新情報を回覧等で教えてほしい 推奨品や価格アドバイス助かる（ガラスシール、戸棚開かない装置等） 自治会で持っている防災用具の周知・大き目の用具は自治会で用意
情報要望	
情報要望	
情報要望と提案	
その他要望	住宅車出入口付近の(ブロックによる?)排水不良ヶ所の改善指導 体力なくあまり用意できていない・体許す限り防災活動に参加するつもり アンケート回収時は、封入で個人情報を保護すべき
その他	
その他提案	

以上全基礎データは、個人が判らない形でデジタル化して保存。原本は今月中にシュレッダー廃棄します。

自らを守ることで地域が守られ、地域を守ることで自らが守られる！